

NCC-URM(都市農村伝道委員会) 第23回全国協議会のご案内

今年ほど「農」について関心が高くなった年はなかったと思います。「米不足」「米価格高騰」ついには全国各地での「令和の百姓一揆」が起きて、日本の食と農を守る機運が盛り上がっています。この社会的背景を受けて2025年の全国協議会を準備いたしました。

URM委員会の目的は「都市宣教課題（労働・経済問題、日雇い労働者問題・移住労働者問題・原子力発電問題等）また農村宣教の課題（食・いのち・農業）に取り組む団体・個人のネットワーク化をはかり、諸課題の解決に取り組む。」ことを旗印としていますが、2025年は農村宣教をテーマとして「いのちの農・働き人から学ぶ」ことを決定、学びの場の会場に「愛農学園高校」をお願いして別記のブログをご案内いたします。

愛農学園高校との打ち合わせでは「いのちを大切に人を育てることを目指す、日本で唯一の私立のちいさな農業高校です。」とご紹介いただきましたが、学校の理念には『たくさんのいのちと生きていくこと、つまり平和を体験的に学ぶために、愛農高校では「神・人・土を愛する」三愛精神を教育の基本に置いています。』と大切な働きが掲げられています。この高校を会場として、生徒の皆さんとの交わりや発題される諸先生のご意見を拝聴して、いのちの農の現場から多くの事を学び、農村宣教の諸課題解決の一助になればと念じております。

今回の全国協議会も、オンライン形式で、時間も大幅に時短して私たちに託された課題を担い合い、少しでも共に前に進みたいと願います。ご参加をお待ちしています。

NCC-URM委員会委員長 安藤眞一

テーマ：「いのちの農・その働き人から学ぶ」

会場：愛農学園農業高等学校（三重県伊賀市別府690 村上守行校長）

日程：2025年9月22日(月)～23日(休日)

参加定員：現地参加定員20名 Zoom配信有り

会費：現地参加 8,400円（宿泊3,400円、食事3,000円、諸経費2,000円）

Zoom参加 1,000円（資料代その他）

（同封の振込用紙をご利用いただくか、郵便振替00960-2-145645 名義：NCC-URM にご入金ください。現地参加者は現地にて現金でもお受けします。）

主題講演：村上守行校長 愛農高校の働きについて

発題者：奥田美和子（おくだ みわこ）さん（土の香市場ハラペコあおむし創設者）

「農伝の大切さや働きについて」

池迫直人（いけさこ なおと）さん

「農本主義と東洋の思想文化に道がひらかれていた、～わたしの半生から～」

飛田雄一（ひだ ゆういち）さん（神戸学生青年センター）

「食と農—神戸学生青年センターの実践から—」

申し込み：締切8月20日

1 下記Googleフォームよりお申し込みください。

2 Googleフォームを利用できない場合は、振り込み用紙に必要事項（お名前、所属、性別(宿泊割り振りのため)、電話番号、メールアドレス、資料等送付先）を記入の上、参加費をご入金ください。

NCC-URM 第23回全国協議会申し込みフォーム

URL： <https://x.gd/emXaN>



プログラム

9月22日

9:30 鶴橋駅集合 車に分乗して会場へ
11:30 愛農学園高校着
12:00 昼食
12:30 オリエンテーション
13:00 主題講演 村上校長
14:00 生徒との交流
16:00 協議会準備
16:30 開会礼拝
17:00 発題1 奥田美和子さん
18:30 夕食
19:00 発題2 池迫直人さん
20:30 1日目終了

9月23日

6:00 起床、農作業見学
7:00 朝食
8:00 宿泊所掃除
9:00 発題3 飛田雄一さん
11:00 全体会1
12:00 昼食
13:00 全体会2
13:30 閉会礼拝
14:00 愛農学園出発 帰路へ